

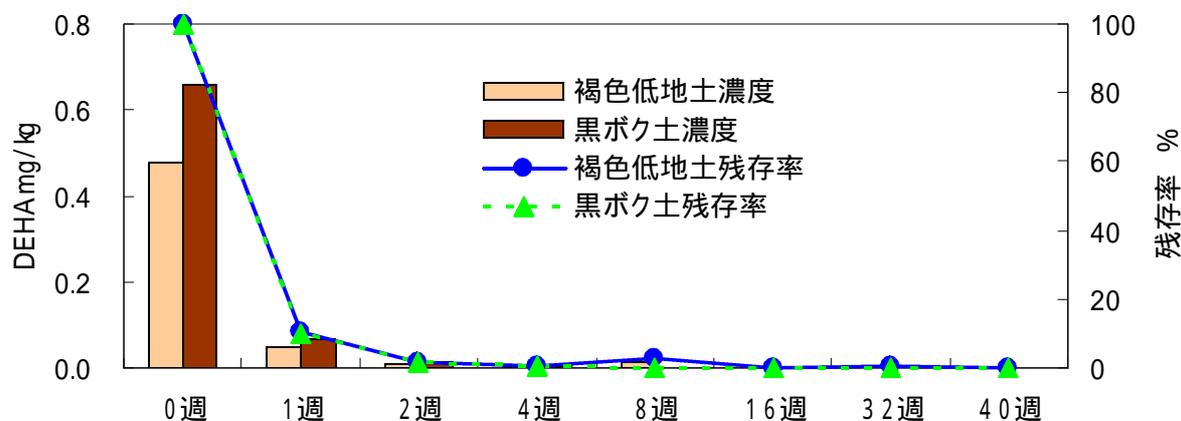
農業生産において アジピン酸エステル汚染の可能性は少ない

農業生産現場では、施設やマルチなどの被覆用にフィルム資材が使われています。これら資材の中には製造過程で可塑剤が混合され、内分泌攪乱化学物質、いわゆる環境ホルモンと疑われる物質も使用されています。ここでは主に食品包装用ラップフィルムに用いられているアジピン酸エステル（DEHA）について、土壌、作物への残留実態を調査しました。その結果、栽培中に農作物がアジピン酸エステルに汚染される可能性は極めて少ないことがわかりました。



農業用資材からのDEHAの検出

| 資材の用途と原料 | 製品数 | DEHA濃度 |
|----------|-----|--------|
| ハウス用 | | |
| 塩化ビニール | 2 | 検出限界以下 |
| ポリオレフィン | 2 | // |
| マルチ用 | | |
| 塩化ビニール | 1 | 検出限界以下 |
| ポリオレフィン | 4 | // |



DEHAの土壌中における分解経過

アジピン酸エステル（DEHA）は土壌中で速やかに分解します。県内の水田、畑地、樹園地、茶畑、飼料作畑からも検出されませんでした。

ハウス栽培の野菜からのDEHAの検出

| 作物 | 収穫時期 | 収穫位置 | DEHA |
|--------|-----------|---------|--------|
| コマツナ | 12月、2月、3月 | ハウス中央 | 検出限界以下 |
| ハウレンソウ | 8月 | ハウス中央、端 | // |

土壌・作物のDEHAは、乾物で0.04mg/kgが検出限界です。

（農林総合研究センタ - 農産物安全性担当 TEL 0480-21-1113）